

子ども教育学科

科目 Pick Up



学校インターンシップ(基礎)

保育・教育施設の現場を体験し
子どものありのままの姿を観察する



幼稚園、小学校などの教育現場に実際に行き、子どもの姿や子どもと先生との関わりを観察します。観察したことを記録にまとめるなかで、子どもの世界の理解も深まります。



教職演習(小学校英語)

小学校教諭として英語で授業する
英語表現力の習得を目指す



小学校の「外国語活動」と「外国語」を子どもたちが楽しく学べるように教える方法を考えます。学級担任として英語で授業を行うために英語力向上を目指して、資格試験にも挑戦します。



音楽・器楽

小学校や幼稚園の先生に求められる
ピアノの演奏技術と表現力を身につける



小学校や幼稚園などの現場で必要とされる、ピアノの基礎技術や弾きながら歌う技術を身につけます。音楽の楽しさを学生自身が感じとり、それを子どもと分かち合える表現力の習得を目指します。



言葉の基礎

言葉遊びや日常の言語活動を通して
語感を磨き、言葉を使いこなす力を養う



先生に求められる言葉の基礎力を養います。言葉遊びや授業での発表、日常のあいさつなど多様な言語活動を意識的に実践することで、語感を磨き、言葉の使い手として自信を持てるようにします。



児童学概論

子どもについて学ぶ視点と方法を理解し
児童学への関心と意欲を高める



子どもを学びの対象とするための視点や、研究の方法について理解し、その後さまざまな領域での児童学への関心と意欲を高めます。また、子どもをめぐる場面における、大人との関わりを考えます。



教育心理学

心理学の視点から自己の発達や
学習原理、教育評価法などを学ぶ



子どもが親、先生、仲間との間でつくる人間関係の働きや、人間関係の中での自己の確立のされ方、学習の原理、効率的な学習法など、学校教育をめぐる心理学的諸問題について根気強く考えます。

学びの実感

他の学生のお話を引き出し
理解しようとする姿勢

楽しさの感じ方は人それぞれです。図画工作科が大切にしている表現の楽しさを体験する授業で、堀さんは他の学生との感じ方の違いに気づき、気持ちも理解しようとしています。その姿勢は、子どもの可能性を引き出して伸ばす教師としての力になると思います。

子ども教育学科
柴崎 裕 特任教授



一つの正解を求めない授業で
人の意見を聞く力が養われる

柴崎先生はいつも「もっと気楽に、自由に遊んでみるとよい…」と図画工作の楽しさを伝え、その中で考えることを促します。図画工作科の授業課題に、一つの正解というものはありません。だから、他の学生の意見にも興味を湧き、人の話を聞く力がつきました。

児童学科(現 子ども教育学科) 2021年3月卒業
日々輝学園高等学校 出身
堀 勇輝